



第17回大会報告	p. 1
第17回大会を終えて	p. 3
第19回総会報告	p. 3
役員の改選報告	p. 4
総会・決算報告	p. 4
機関誌 No.16 の送付	p. 5
機関誌 No.17 原稿募集	p. 5
事務局からの連絡	p. 6

東洋大学 社会福祉学会

第17回大会報告

大会テーマ「新キャンパスでの新たな学会の構築に向けて」

2023（令和5）年8月6日（日）、東洋大学社会福祉学会第17回大会が東洋大学赤羽台キャンパス（HELSP0 ホール：3号館3階）にて開催されました。大学院生・卒業生や本学教員、学外から多くの参加があり、盛況のうちに終了しました。

第1部「新任教員による研究発表」として、下記の4名より意欲的な研究成果が報告されました。

1. 村川真一 会員（東洋大学 福祉社会デザイン学部 実習助教）
「労働とのつながりの場についての一考察
～イタリア・イギリス・ドイツにおけるソーシャルファームとの比較を通して～」
2. 小出真由美 会員（東洋大学 福祉社会デザイン学部 実習助教）
「子どもの権利擁護機関における相談支援に関する研究
～子ども相談のインテークの実践現場から～」
3. 新田恵美 会員（東洋大学 福祉社会デザイン学部 実習助教）
「介護福祉士養成における多職種連携教育に関する考察
～実施状況の比較による教育実践プログラムの検討～」
4. 藤澤美保 会員（東洋大学 福祉社会デザイン学部 実習助教）
「『接近困難』な高齢者との援助関係構築のプロセスとアプローチの原則に関する研究
～地域包括支援センターが対応している高齢者の『ゴミ屋敷』事例を中心に～」

第1部では、伊奈川秀和会長（東洋大学福祉社会デザイン学部教授）、森田明美会員（東洋大学社会学部名誉教授）、吉浦輪会員（東洋大学福祉社会デザイン学部教授）をコメンテーターに迎え、荻野剛史会員（東洋大学福祉社会デザイン学部教授）を司会として、活発な議論が展開されました。



会場の様子

(HELSP0 ホール)



村川真一会員

小出真由美会員



新田恵美会員

藤澤美保会員

第2部「2022年度東洋大学博士号授与者による発表」では、下記の3名が発表を行いました。

1. 劉鵬瑶 会員

「中国都市部の社区における地域住民に密着した支援に関する研究
～社区網格化管理の仕組みとその展開における網格長の支援～」
(社会福祉学)

2. 原田聖子 会員

「施設職員の『不適切なかかわり等』の『内面化』と『学び直し』のプロセス」
(社会福祉学)

3. 柴ラク 会員

「中国における里親養育支援に関する研究
～山西省における障がい児を育てる里親家庭の養育経験による分析を中心に～」
(社会福祉学)

第2部では、秋元美世会員（東洋大学社会福祉学研究科教授）および志村健一会員（東洋大学福祉社会デザイン学部教授）をコメンテーターに迎え、熱い討議が交わされました。最後に、これら議論を踏まえて、天野マキ先生よりご講評いただき、締めくくりの閉会挨拶では、稲沢公一会員（東洋大学福祉社会デザイン学部教授）が全体の総括を行いました。



劉鵬瑶会員



原田聖子会員



柴ラク会員

大会後は、東洋大学 HELSPO 食堂にて懇親会を開催し、会員、院生、教員が交流しました。



懇親会の風景

第 17 回大会を終えて

小野 道子

今大会は、5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、東洋大学内の行動指針が「レベル0（通常通り）」となったことから、久しぶりの完全対面開催となりました。大会後には懇親会を開催し、会員同士の交流を深めることもできました。学内会員だけでなく、他大学に着任されている卒業生や大学をご退職された方など、50名以上の会員の皆様に参加していただきました。

今年の4月、社会学部社会福祉学科は、学部・学科の再編により、白山キャンパスから赤羽台キャンパスに移転し、ライフデザイン学部生活支援学専攻に所属されていた先生方と共に、福祉社会デザイン学部社会福祉学科として、新たなスタートを切りました。社会福祉学研究科（大学院）も赤羽台キャンパスに移転したことから、大会テーマを「新キャンパスでの新たな学会の構築に向けて」とさせていただきました。今大会を赤羽台キャンパスで開催するにあたり、これまで会員になっていなかった東洋大学ライフデザイン学研究科の卒業生や同窓教員にも入会いただき、新規会員を増やすことができました。大会会場は、健康スポーツ科学部や図書館が入っているHUB-3という建物の中のHELSP0ホール、懇親会はHUB-3の食堂を使わせていただき、年次総会と年次大会の合間には、有志の教員によるキャンパスツアーも行われました。

13時からの学会年次総会終了後、14時より17時45分まで、第1部「新人教員による研究発表」、第2部「2022年度東洋大学博士号授与者による発表」の2部構成として大会を行いました。例年の大会では、講師をお呼びして講演会の形式をとることが多いものの、今回は、「新たな学会の構築」を目指すため、福祉社会デザイン学部の新任教員である4名の実習助教の先生方に、それぞれのご研究の内容をご紹介いただくことにいたしました。多忙な学内業務に追われ、普段はなかなか聞くことができない同僚の多彩な研究内容を知ることができ、学内の教員にとっては大変有意義な会となりました。第2部の博士学位取得者による報告は、2023年3月に社会福祉学博士号を取得された3名の方々から、博士課程の集大成である博士論文の内容を紹介いただきました。今大会は大学院生の参加も多かったので、大学院生にとっては今後の研究や進路を考える上でも参考になるご発表でした。

最後になりましたが、今大会担当理事として、皆様のご協力に深く感謝申し上げます。伊奈川会長、佐藤事務局長、財務担当の小出理事、学会ニュース担当の洪理事、HP担当の小櫃理事、福祉社会開発研究センターRAや大学院生の皆さんなど、準備の段階から当日まで様々なご協力をいただきましたこと、この場を借りて御礼申し上げます。

第 19 回総会報告

東洋大学社会福祉学会 第19回総会が、第17回大会の同日13時よりHELSP0ホール（3号館3階）にて開催しました。審議結果及び報告事項は下記の通りです。

- (1) 会員数 184名（2023年3月現在）
- (2) 2022年度事業及び会計報告、2023年度事業計画案及び予算案について
総会では、2022（令和4）年度事業報告として、ニュースレターの発行（第41~43号）、東洋大学社会福祉学会第16回大会開催（2022年8月7日）、機関誌『東洋大学社会福祉研究』第15号（2022年7月）の発刊が報告されました。合わせて2022年の決算報告が行われ、承認されました。
引き続き、2023（令和5）年度の事業計画案（機関誌『東洋大学社会福祉研究』第16号の発行、ニュースレター（年2回、第44~45号）の発行、東洋大学社会福祉学会第17回大会（2023年8月6日）開催）が提示され、事業計画に基づく予算案とともに承認されました。
- (3) 役員の変更報告が行われました。新役員体制については、次頁に記載の通りです。

役員の変更報告

役員（顧問）	坂口順治先生・天野マキ先生・古川孝順先生	
会長	伊奈川秀和（本学教授）	
事務局長	佐藤亜樹	（本学准教授）
会計監事	熊田博喜	（武蔵野大学教授）
理事（研究大会担当）	小野道子	（本学准教授）
理事（機関誌担当）	戸井宏紀	（本学准教授）
理事（同窓会担当）	後藤広史	（立教大学教授）
理事（同窓会担当）	相馬大祐	（長野大学准教授）
理事（HP担当）	小櫃俊介	（一般社団法人ORINAS代表理事）
理事（学会ニュース担当）	岡安朋子	（本学助教） から新規入職者（本学助教）の予定
理事（学会ニュース担当）	洪心璐	（本学実習助教）
理事（財務担当）	藤木聡美	（本学実習助教） および小出真由美（本学実習助教）
理事	藪長千乃	（本学教授）

決算報告

2022年度 決算

収入			支出		
項目	金額	備考	項目	金額	備考
前年度繰越金	2,283,814		第16回大会運営費	127,033	
			（内訳）	16,146	大会昼食代
				74,150	大会人件費(アルバイト代, コメンテーター代)
年会費	149,000			527	ウェブサイトリニューアル
				17,400	参加者へのクッキー, お茶代
過年度会費納入	72,000			18,810	テーブル起こし代
翌年度以降会費納入	2,000		機関誌費	154,924	第15号印刷代, 製本代
			学会事務費	132,834	
				84,847	郵送・配達料(ニュースレター, 学会誌他)
				2,942	雑費
				39,600	印刷製本費
				1,485	払込手数料
				3,960	学会HP管理費
小計	2,506,814		小計	414,791	
次年度繰越金	2,092,023				

2023年度 予算

収入			支出		
項目	金額	備考	項目	金額	備考
前年度繰越金	2,092,023		第17回大会運営費	150,000	昼代, 茶菓子代, 印刷代, 人件費
年会費	338,000	1,000 × 24 2,000 × 157	機関誌費	180,000	第16号印刷代, 製本代
過年度会費納入	25,000		学会事務費	113,960	
				40,000	人件費(ニュースレター発送作業等アルバイト)
				50,000	郵送・配達料(ニュースレター, 学会誌他)
				3,960	学会HP管理費
				10,000	事務消耗品
				10,000	雑費(払込手数料等)
小計	2,455,023		小計	443,960	
次年度繰越金	2,011,063				

◆特別会計

2022年度 特別会計決算

収入			支出		
項目	金額	備考	項目	金額	備考
前年度繰越金	752,712				
小計	752,712		小計	0	
次年度繰越金	752,712				

2023年度 特別会計決算

収入			支出		
項目	金額	備考	項目	金額	備考
前年度繰越金	752,712				
小計	752,712		小計	0	
次年度繰越金	752,712				

機関誌『東洋大学社会福祉研究』 No.16 の送付

機関誌『東洋大学社会福祉研究』 No.16 を 2023 年 7 月に発刊しました。2022 年度シンポジウム、学位取得者論文要旨、学会活動報告、投稿規定、執筆要領などを掲載しています。年会費納入済みの会員で第 17 回大会の欠席者には、本ニュースレターと一緒に、本機関誌 No.16 を送付しています。

機関誌『東洋大学社会福祉研究』 No.17 原稿募集

機関誌『東洋大学社会福祉研究』 No.17 の原稿を募集しています。**投稿の締切は「毎年 3 月末」**です。投稿規程・執筆要領は学会誌 No.16 もしくは HP (<http://toyo-sws.chips.jp/>) の「投稿規定 (PDF)」をご参照下さい。査読後、編集委員会を経て掲載を決定いたします。奮ってご応募下さい。投稿についてご不明な点がございましたら、事務局までお問い合わせ下さい。

「東洋大学社会福祉研究」投稿規程

1. 投稿資格

投稿者は、原則として東洋大学社会福祉学会会員とする。ただし、以下の場合には、編集委員会の判断によって投稿を受理できる。

1) 編集委員会において特別に依頼する場合。

2. 原稿の種類

1) 原稿の種類は、論文、研究ノート、翻訳、資料とする。

2) 論文は、他に未発表のものに限る。投稿論文と内容が重複・類似した既存発表論文または他誌に投稿中の論文がある場合は、投稿者は、必ず当該論文のコピーを添付することとする。編集委員会で受理の諾否を決定する。

3) 翻訳・目録・資料で単独の原稿をなすものには、解題・解説を付けることが必要である。

3. 原稿の枚数

1) 原稿は、原則として、400 字詰め原稿用紙換算 30 枚 (20,000 字、図表を含む) 以内とする。

4. 原稿の採否

1) 原稿の採否、ならびに論文の修正の指示は、選定されたレフェリーの査読結果に基づき、編集委員会が決定する。

5. 投稿形式

1) 投稿は、電子媒体で行い、プリントアウトしたハードコピーを添付する。

6. 要旨・キーワード

1) 原則として、400 字程度の要旨と、5 個以内のキーワードをつける。

7. 執筆要領・執筆要領

1) 編集委員会においてその内容を検討し決定する。

8. 自由投稿論文の原稿は、掲載の可否にかかわらず返却しない。

事務局からの連絡

(1) 年会費の納入について

<会費納入の口座変更のお知らせ>

キャンパス移転に伴う事務処理の関係上、下記口座への入金をお願いします（以前のゆうちょ銀行は、使用しないでください）。ご協力お願いいたします。

三井住友銀行 白山支店

口座番号 6689065

名前 白山社会福祉学会 事務局 金子光一

会費：一般 2,000 円、学部在學生・大学院生 1,000 円

(2) 学会機関誌は、年会費の納入のあった会員に配布しております。

(3) 住所（ご自宅）・勤務先の変更、ご意見・ご要望等は、事務局まで連絡をお願い致します。

(4) メールアドレスの情報提供について

今後学会からのお知らせ等をメールでもお伝えしたいと考えています。E メールアドレスの情報提供をお願い致します。下記までお名前・ご所属・E メールアドレス等をご記載の上、送信して下さい。

https://docs.google.com/forms/d/1iG47QdGjA7h_qwDB_ywCJFrshgHZ9njlI3v8Cg7HPZY/edit?ts=62bd3bcc



HP 上にも Google フォーム、QR コードを記載しています。そちらもご活用ください。

(5) アンケート調査への御協力のお礼

前回ニュースレター送付の際に同封しましたアンケート調査に御協力いただきありがとうございました。回答内容については、大学院におけるリカレント教育に関する今後の検討の生かしていきたいと思っております。

【事務局連絡先】 〒115-8650 東京都北区赤羽台 1-7-11 WELLB-HUB2

東洋大学社会福祉学会事務局

佐藤亜樹 Tel : 03-5924-2369

Email : sato048@toyo.jp